会長短信

翔友の諸賢に

会長　小野　哲

思いもかけず「翔友」は長く続きます。結構なことであります。別稿で記しました如く、翔友の内の先輩は、かなりあの世に移られました。

佐々木さんの次は私なのですが、どうなるやら。

確かなことは翔友会が健在で、久しぶりにこの春、妻沼での個人成績ながら花井が期待に応えましたから大御堂の桜の４月、格納庫での祝杯はまた格別でありました。

格納庫（バウ）と言えば、まだ屋根に DUAC のマークをペイント出来ていませんが、物騒な時代に麗々しく大書するのがよいのやらどうやら。その屋根の下には、ほとんど復元完成の見通しのついたイオラスもアローヘッドも姿をひそめています。連絡車、リトリブカーの代表 OB でヒルマンミンクスも置かれるでしょう。いやどうも。

部長短信

航空部長　坂口一彦

今世紀最後の大変革をなし遂げた母校の近況報告をさせていただきます。昨年４月工学部の田辺キャンパスへの全面移転によって、今出川、田辺両キャンパスは様変わりいたしました。

まず、今出川ですが、旧工学部使用の建物はじめ明徳館などすっかり内部が変わってしまいました。ハリス理化学館には卒業生ラウンジ、NEESIMA ROOM などが設置され、大学創設時縁の品々の展示など行われています。その他入試課、広報課、社史資料室などが入り、従来と違って学生の出入りの少ない静かなたたずまいをしています。

グランドの北側の博遠館は内装を一新し、法学、経済学、商学、アメリカ研究科、および本年設置の総合政策科学研究科の各大学院の講義室、演習室が設けられました。特に総合政策科学は、翔友の発行の頃には新しく学生を受け入れていることと思います。これは法、経、商学部の先生方が中心となって構成されます。明徳館は、２階から５階まで文学研究科の講義室、演習室など、近くへお越しの節にはぜひキャンパスへお立ち寄り下さい。理化学館の卒業生ラウンジでも覗いて下さい。21世紀に向けて変革してゆく母校の姿をぜひ確認しておいて下さい。

田辺キャンパスは、工学部全学年、大学院、理工学研究所、全ての工学部関連施設が設けられ、キャンパスの中央部北側の位置に、すばらしい建物の姿を見ることができます。田辺キャンパスは、今年で丁度10年目を迎えますが、10年前に植えられた樹木もすっかり成長し、しっかり根を張りたくましくなってきました。真夏の猛暑の中、木陰を作ってわれわれに憩いと安らぎの場を提供してくれます。工学部の移転と同時に新しい教室棟、